

第 47 回和歌山臨床細胞学会 総会・学術集会

-プログラム-

令和 5 年 2 月 4 日 (土)
(13:00~17:45)

和歌山県立医科大学
紀三井寺キャンパス
基礎教育棟 3 階 講義室 3
和歌山県和歌山市紀三井寺 811 番地1
(TEL 073-441-0635)

学術集会長 木下 勇一
和歌山県立医科大学附属病院
中央検査部 病理診断部門



細胞採取から標本作製、 さらに染色からスクリーニング鏡検までをサポート

POINT1

従来法に比べ病変検出感度が上昇

POINT2

標本作製の自動化による作業効率の向上

POINT3

独自の標本作製技術による安定した高品質な細胞診標本の作製

■販売名: ThinPrep Genesis プロセッサ 届出番号: 13B1X10179001009 ■販売名: ThinPrep5000プロセッサ 届出番号: 13B1X10179001002 ■販売名: ThinPrepイメージングシステムDuo 届出番号: 13B1X10179001008 ■販売名: ThinPrepインテグレートイメージャ 届出番号: 13B1X10179001003 ■販売名: コンパスステイナー 届出番号: 13B1X10179001007

ホロジックジャパン株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25 日教販ビル TEL.03-5804-2340(代) FAX.03-5804-2321

Hologic, ThinPrepはHologic, Inc.およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

© 2022 Hologic, Inc. All rights reserved.

HOLOGIC®
The Science of Sure

第47回学術集会開催にあたって

第47回学術集会長 木下 勇一

(和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 病理診断部門)

皆様におかれましては、益々、ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、和歌山臨床細胞学会の活動に際しまして、格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。この度、47回目を迎えることとなりました和歌山臨床細胞学会学術集会長を拝命いたしました木下勇一です。開催にあたり、ご指導やご協力をくださいました会員、執行部会の皆様に感謝申し上げます。

さて、今回は教育講演に福岡大学病院 病理部 技師長の松本慎二先生をお招きして『胸水細胞診における鑑別診断フロー～鑑別に有用な免疫細胞マーカーの特性とPitfall～』と題してご講演を賜ります。胸水細胞診といえば形態学的な問題として腺癌と悪性中皮腫、反応性中皮細胞と悪性中皮腫の鑑別が大きな問題となっています。また、検体採取法や採取後の標本作製までの保存方法による免疫染色結果の影響なども議論されるところです。松本先生には細胞や集塊のどのような所見に着目し、どのようにすれば効率的に答え（診断）に導き出すかという実践的、かつ、学術的なお話をうかがえるものと楽しみにしております。また、特別講演には山梨大学医学部 産婦人科 病院教授の端晶彦先生をお招きして『子宮頸部LEGHの臨床像と細胞像』と題してご講演を賜ります。子宮頸部腺癌は予後が不良であることから、早期に診断する必要があります。LEGH自体は良性の頸管腺の過形成であるものの最小偏倚腺癌(MDA)の前駆病変の1つと考えられており、検出することは患者さまの大きな利益となります。一方、LEGHは異型に乏しいことから診断には臨床像と照らし合わせながら行う必要があります。端先生には細胞像はもちろんのこと、臨床医の立場からどのような臨床所見に着目すべきかを含めたお話をうかがえるものと楽しみにしております。学術集会中に行われるスライドカンファレンスでは婦人科と体腔液の2題がありますが、ご講演くださいますお2人のエキスパートにアドバイスをいただきながら活発な討議がなされることを期待しております。

本学術集会では若手細胞検査士による一般演題を企画しております。今回の発表経験が今後、全国学会などの大きな学会での発表へ飛躍する足掛かりになればという思いのもと、あらかじめ演者を指定させていただきました。皆様のご指導をお願い致します。また、例年通りフォトコンテストも企画しております。写真の美しさや、センスあふれた作品が応募されております。皆様、奮ってご投票をお願い致します。

新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年の開催は見送り、2022年はリモートでの開催となっておりますが、今回は3年ぶりに現地で開催する運びとなりました。久々に対面で皆様とお会いできることに心躍らせております。今回、懇親会は見送らざるを得ないことが残念ですが、皆様には是非、学会に直接ご参加いただき、活発な討議を交わしながら明日からの診断に役立つ学術集会となることを祈念しております。

プログラム

総合司会： 奥村 寿崇（日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部）

【開会の辞】（13:00～13:05） 学術集会長 木下 勇一

（和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 病理診断部門）

【総 会】（13:05～13:45）

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| (1) 令和4年度事業報告・令和5年度事業予定 | 和歌山臨床細胞学会 副会長 稲垣 充也 |
| (2) 令和4年度会計報告・令和5年度予算案 | 和歌山臨床細胞学会 理事 田中 真理 |
| (3) 理事会報告 | 和歌山臨床細胞学会 会長 村田 晋一 |
| (4) 新人紹介 | 和歌山臨床細胞学会 会長 村田 晋一 |

（休憩 5 分）

【学 術 集 会】

① **教育講演**（13:50～14:35）

座長：木下 勇一（和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 病理診断部門）

「胸水細胞診における鑑別診断フロー

～鑑別に有用な免疫細胞マーカーの特性と Pitfall～」

福岡大学病院 病理部 技師長 松本 慎二 先生

（休憩 10 分）

② **一般演題**（14:45～15:15）

座長：小島 史好（和歌山県立医科大学 人体病理学教室/病理診断科）

紙谷 知子（公立那賀病院 臨床検査科）

(1) 「甲状腺穿刺吸引細胞診で鑑別困難であった細胞像の検討」

○田中 彩花、溝畑 知穂、阪田 幸範、奥村 寿崇、真谷 亜衣子、

辻井 秀明、中山 理祐子、小野 一雄

日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部

(2) 「胸水の遺伝子検索にて ALK 陽性であった 1 例」

○北田 佳緒里¹⁾、糸川 夏帆¹⁾、楠木 結香¹⁾、田中 真理¹⁾、谷川 直人¹⁾、
坪田 ゆかり²⁾

1) 独立行政法人労働者健康安全機構 和歌山労災病院 中央検査部

2) 独立行政法人労働者健康安全機構 和歌山労災病院 病理診断科

(3) 「当院における子宮頸部細胞診 AGC 判定の検討」

○坂本 果穂¹⁾、木下 勇一¹⁾、永井 宏和¹⁾、松崎 生笛²⁾、吉井 輝子¹⁾、杉山 絵美¹⁾、
工藤 祥太¹⁾、荻野 みなみ¹⁾、目 佳那子²⁾、西川 瑞希²⁾、三笠 友理奈²⁾、
高橋 祐一²⁾、岩元 竜太²⁾、小島 史好²⁾、村田 晋一²⁾

1) 和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 病理診断部門

2) 和歌山県立医科大学 人体病理学教室/病理診断科

(休憩 5 分)

③ スライドカンファレンス (15:20~16:10)

座長：中山 理祐子 (日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部)

阪田 幸範 (日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部)

(1) 婦人科 出題者：楠木 結香 (和歌山労災病院 中央検査部)

回答者：西川 瑞希 (和歌山県立医科大学 人体病理学教室/病理診断科)

(2) 体腔液 出題者：工藤 祥太 (和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 病理診断部門)

回答者：河部 真希 (海南医療センター 検査部)

(休憩 5 分)

④ 共催企業紹介 (16:15~16:20) □シュ・ダイアグノスティックス株式会社

⑤ 特別講演 (16:20~17:20) 共催：□シュ・ダイアグノスティックス株式会社

座長：今井 秀彰 (桜ヶ丘病院 婦人科)

「子宮頸部 LEGH の臨床像と細胞像」

山梨大学医学部 産婦人科 病院教授

端 晶彦 先生

⑥ フォトコンテスト表彰 (17:20~17:35)

【次期学術集会長挨拶】 (17:35~17:40)

松本 安子 (和歌山県立医科大学)

【閉会の辞】 (17:40~17:45)

村田 晋一 (和歌山臨床細胞学会 会長)

会場後方にて顕微鏡を用意しております。スライドカンファレンスの症例を鏡検していただけます。

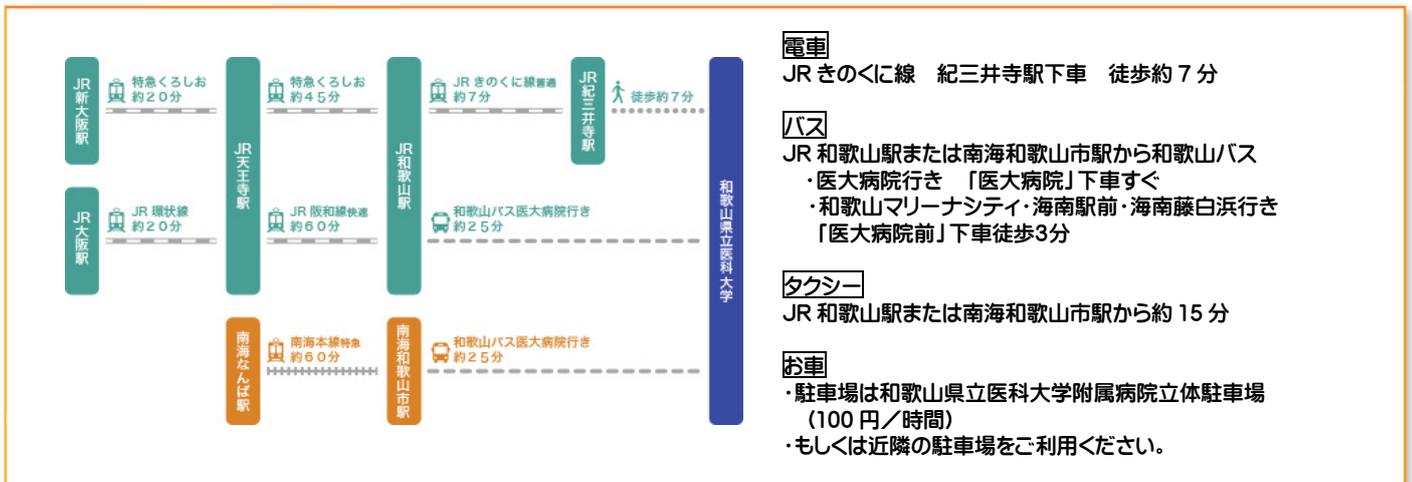
会場の案内

(和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス 基礎教育棟 3階 講義室3)

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811 番地 1

TEL (前日まで) 073-441-0635 (和歌山県立医科大学・人体病理学教室医局)

(当日) 073-447-2300 (和歌山県立医科大学・紀三井寺キャンパス・基礎教育棟へ転送してください)

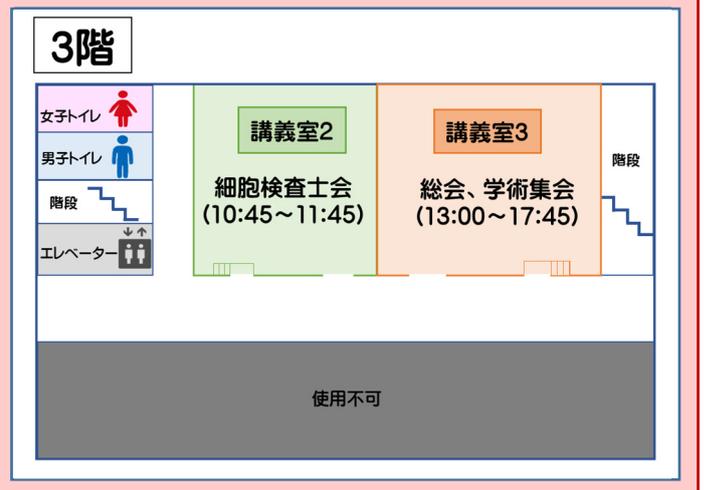
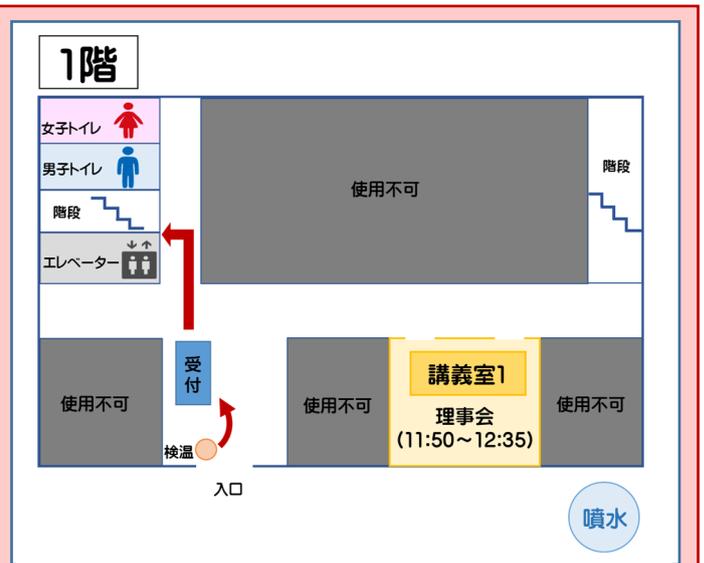


【会場および時間】

- ・総会、学術集会 (13:00~17:45) …基礎教育棟 3階 講義室3
- ・細胞検査士会総会 (10:45~11:45) …基礎教育棟 3階 講義室2
- ・理事会 (11:50~12:35) …基礎教育棟 1階 講義室1

※1階入口に検温計を設置しております。

検温後に受付をお願いします。



■ 受付

- ・11時30分から受付を開始します。
- ・検温および手指消毒後に受付をお願いいたします。
- ・参加費は2,000円です。
- ・会員の方は年会費(医師 3,000円、医師以外 2,000円)の受付もしております。
- ・新入会も受付しております(年会費をお支払いください)。
- ・日本医師会生涯教育講座参加証、日本産婦人科医会研修参加証、日本産婦人科学会専門医制度研修単位を発行いたします。
- ・CTの方は、クレジットはJSC10点、IAC 4点です。

■ 発表者へのご案内

➤ テータの準備

- ・演題発表と質疑は以下の時間で行います。

教育講演：発表時間40分、質疑5分

特別講演：発表時間55分、質疑5分

スライドカンファレンス：

症例呈示1分、回答者回答3分、会場回答6分、出題者解説7分、討論8分

一般演題：発表時間7分、質疑3分

- ・パソコンプレゼンテーション(プロジェクター1面)での発表に限らせていただきます。
- ・会場に発表用のWindowsパソコンを準備します。(Windows10、office 2019を使用予定です。)
- ・スライドのサイズは「4:3(標準)」をお願いいたします。
- ・テータはPowerPoint で作成ください。
- ・文字化けを防ぐため、念のためフォントは下記のものをご使用ください。
日本語：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝、游明朝、メイリオ
英語：Times New Roman、Arial、**Arial Black**、Arial Narrow、Century、
Century Gothic、Courier New、Georgia
- ・ご自身のPC (Mac、Windows)をお使い頂くことも可能です。動画を含むご発表の場合、再生エラーを防ぐためにご自身のノートパソコンでの発表をお願い致します。ご自身のPCをお使いになる場合は、接続は各自の責任でお願い致します。
特にMacの場合はご自身のパソコンをご用意いただき「コネクタ」の準備をよろしくお願い致します。
- ・発表テータは、ファイル名を「演題番号 氏名」にしてください。

➤ PC受付(教育講演、特別講演の演者の先生方)

- ・発表の60分前までに受付をお願い致します。
- ・発表テータは、USBメモリーでお持ちください。USBメモリーでお持ちいただいたファイルを、当方の発表用PCにコピーさせていただきます。(終了後確実に削除致します。)

和歌山臨床細胞学会登録用 E メールアドレス送信のお願い。

和歌山臨床細胞学会では、連絡は E メールで送らせていただきます。
wsc@wakayama-med.ac.jp まで登録する E メールアドレス、氏名を
送ってくださるようお願いいたします。(右の QR コードからも読み取れます)



抄録集

バーチャルスライドに関して
スライドカンファレンスの症例を閲覧できます。

【閲覧方法】

1. 以下のサイトにアクセスしていただき、
<http://w-hupath.wakayama-med.ac.jp/> (右上の QR コードからも読み取れます)
会員の方へは Username、Password は事務局からメールでお知らせしています。
2. 「Browse Images」をクリックしてください。
3. 「和歌山臨床細胞学会」をクリックしてください。
4. 「WSCC47」をクリックしてください。
5. バーチャルスライドをクリックして観察してください。
※レイヤーは「Ctrl」を押しながらマウスのホイールを回していただくか、
左上の「0 μm」の表示をクリックすると変わります。

【事前投票方法】

以下のサイトにアクセスしていただき、投票をお願いします。

<https://forms.gle/1YW8BdFNCnwbWWjo7>

(右の QR コードからも読み取れます)

バーチャルスライド閲覧



投票



教育講演

座長：木下 勇一（和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 病理診断部門）

「胸水細胞診における鑑別診断フロー ～鑑別に有用な免疫細胞マーカーの特性と Pitfall～」

福岡大学病院 病理部 技師長
松本 慎二 先生

胸水中に出現する悪性細胞の原発巣として肺腺癌の頻度が最も高いことは云うまでもないが、実際の診断に際してはCT等の画像診断による肺野病変の有無が不明な段階での診断を求められることも少なくない。肉腫やリンパ腫も含めて様々な悪性細胞が出現する胸水材料において、良性（反応性）中皮細胞と悪性細胞の鑑別も含めて、細胞起源同定のためにもセルブロック標本および免疫細胞化学は今や不可欠な診断手法である。胸水貯留による呼吸苦を初発症状とするびまん性胸膜中皮腫の診断における胸水細胞診もまた同様、早期発見・治療開始のためにも初診時の胸水細胞診の役割は極めて重要である。FISH法による9p21/CDKN2A(p16)遺伝子ホモ接合性欠失の有無、さらに免疫染色によるBRCA1-associated protein 1 (BAP1) 蛋白の核内発現欠失、p16-FISHの代替アッセイとしてのMTAP(methylthioadenosine phosphorylase) 蛋白の細胞質内発現消失は、中皮腫診断の精度向上に大きく寄与し、今日では診断根拠とも云うべく不可欠な補助診断ツールとなっている。これら分子病理学的ならびに免疫化学による数多くのエビデンスの蓄積により、2021年改訂WHO分類第5版では前浸潤性中皮腫(MIS: Mesothelioma in situ)の概念も明確に定義付けられ、細胞診材料のみでの中皮腫診断確定の可能性がさらに容認されるようになった。

このように補助診断ツールによる診断根拠が確保された胸水細胞診の臨床的価値は高く、網羅的遺伝子解析の対象サンプルとしても今後さらにその需要は拡大していくものと思われる。このような中、我々はこれらの有効性に加えてピットフォールを含めた特性（免疫化学における抗原の局在や内在コントロールの評価）も熟知しておく必要がある。特にMTAP免疫染色の判定に際して、MTAP発現の有無と9p21ホモ接合性欠失のステータスは必ずしも合致しないということも熟知しておく必要がある。本発表では、中皮腫や肺腺癌と鑑別すべき種々の悪性腫瘍および良性（反応性）中皮細胞について細胞像の比較ならびに鑑別に有効な免疫マーカーとそのピットフォールについて症例提示をまじえながら報告する。

特別講演

座長: 今井 秀彰 (桜ヶ丘病院 婦人科)

「子宮頸部 LEGH の臨床像と細胞像」

山梨大学医学部 産婦人科 病院教授
端 晶彦 先生

子宮頸がんの多くがヒトパピローマウイルス (human papillomavirus ; HPV) の持続感染が原因で癌化します。扁平上皮癌ではほとんどの症例に HPV 感染が成立しています。一方腺癌は近年増加傾向にあり頸がん全体の約 20% を占めています。子宮頸部腺癌では通常型内頸部腺癌をはじめとして 70~80% の症例で HPV 感染が成立していますが、胃型粘液性癌、明細胞癌、中腎癌、類内膜癌では HPV 陰性が報告されています。本邦では HPV 陰性頸部腺癌としては胃型粘液性癌の占める割合が高いことが報告されています。

良性の胃型形質発現頸部病変として分葉状頸管腺過形成 (Lobular endocervical glandular hyperplasia : LEGH) が知られていますが、LEGH と胃型 AIS あるいは胃型粘液性癌との共存、LEGH を母地とした胃型 AIS あるいは胃型粘液性癌の発生が報告され、LEGH は HPV を介さない頸部腺癌の前駆病変と考えられています。したがって LEGH は見落としてはいけない子宮頸部腺系病変と考えられます。

本講演では LEGH の臨床病理学的特徴、組織所見、細胞診像、画像所見、診断方法、臨床的取扱い等を解説いたします。細胞診所見では、LEGH をベースに発生した AIS や腺癌症例の細胞診的所見の特徴や近年、液状化検体細胞診 (Liquid-based cytology : LBC 法) が普及しているため、従来法 (直接塗抹法) と LBC 法における LEGH の細胞像の比較についてなどを解説する予定です。

一般演題

座長：小島 史好（和歌山県立医科大学 人体病理学教室/病理診断科）
紙谷 知子（公立那賀病院 臨床検査科）

(1) 「甲状腺穿刺吸引細胞診で鑑別困難であった細胞像の検討」

○田中 彩花、溝畑 知穂、阪田 幸範、奥村 寿崇、真谷 亜衣子、辻井 秀明、中山 理祐子、
小野 一雄
日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部

【はじめに】

当院の甲状腺穿刺吸引細胞診で classⅢ（鑑別困難）と診断された症例の細胞像を再検討し、組織型による細胞像の比較を行ったので報告する。

【対象・方法】

2021年1月～12月に甲状腺穿刺吸引細胞診で鑑別困難と診断された73症例のうち、手術が行われ組織型が確定した38症例の細胞像を再検討し、組織診断との比較を行った。

【結果】

組織型の内訳は乳頭癌16症例、腺腫様甲状腺腫16症例、濾胞腺腫3症例、乳頭癌様核を有する非浸潤性甲状腺濾胞性腫瘍（NIFTP）2症例、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫（DLBCL）1症例である。乳頭癌と診断された症例の多くは乳頭状集塊や乳頭癌の核所見を認めたが、採取されている細胞や異型細胞が少ない症例であった。乳頭癌の核所見である核内細胞質封入体、核溝、すりガラス状核などを認めた症例は12症例あり、乳頭癌10症例、NIFTP1症例、腺腫様甲状腺腫1症例である。濾胞腺腫と診断された症例は採取細胞量が多く、小型濾胞を形成していた。小型の濾胞構造を認めた症例は濾胞腺腫、NIFTP、腺腫様甲状腺腫がある。NIFTPは乳頭癌の核所見を認めず小濾胞状集塊からなる症例で、腺腫様甲状腺腫は小型濾胞を優位に認める症例であった。

【考察】

乳頭癌の核所見は特徴的だが他の組織型でも認めることがあり、慎重な判断が必要である。また異型細胞の数が少ない場合、乳頭癌を断定することは困難である。小型の濾胞構造を認める濾胞腺腫、NIFTP、腺腫様甲状腺腫の鑑別は困難であると考えられる。

【まとめ】

甲状腺穿刺吸引細胞診は診断精度が高く、甲状腺腫瘍の術前診断として重要な役割を担っている。悪性と診断された症例の正診率は高いとされるが、良性悪性の鑑別が困難な症例も少なくない。その組織型は多様であるため、組織診断との比較を行い、鑑別困難と診断した症例の細胞像を理解することが診断精度の向上に重要である。

(2) 「胸水の遺伝子検索にて ALK 陽性であった 1 例」

○北田 佳緒里¹⁾、糸川 夏帆¹⁾、楠木 結香¹⁾、田中 真理¹⁾、谷川 直人¹⁾、
坪田 ゆかり²⁾

- 1) 独立行政法人労働者健康安全機構 和歌山労災病院 中央検査部
- 2) 独立行政法人労働者健康安全機構 和歌山労災病院 病理診断科

【はじめに】

近年、体腔液検体でも遺伝子検査を併用することが可能となってきている。今回、胸水細胞診で ALK 陽性であった症例を経験したので報告する。

【症例】

80 歳代、女性。主訴：労作時呼吸困難 現病歴：1 月頃より、労作時呼吸困難が出現し、4 月、前医で胸部 X 線にて左胸水を認めため、当院に緊急入院となった。

血中腫瘍マーカー：CEA 7.6ng/ml、シフラ 21.4ng/ml、ProGRP 47.2pg/ml

【胸水細胞所見】

出血性でリンパ球優位の炎症細胞が見られる中に、やや淡い胞体を有し、核偏在性で、核増大、核小体を伴う異型細胞を散在性～数个集団で認めた。巨核細胞や多核異型細胞も見られることより、分化の低い carcinoma を疑った。

【胸水セルブロック所見】

炎症細胞と赤血球を背景に、核偏在する大型異型細胞や異型核を有する巨核細胞が散見され、結合性は弱い。

大型異型細胞にて、AE1/AE3、CAM5.2、CK7、CEA、TTF-1、NapsinA、Claudin4、Ber-EP4、BAP1、MTAP 陽性、diastase 消化後 PAS 陽性物質を少量認めることから、肺腺癌を疑った。

【遺伝子検査結果】

オンコマインマルチ CDx 検査にて ALK(+)

【まとめ】

本例では胸水採取から 1 週間で遺伝子検査を提出することができ、およそ 1 ヶ月後に分子標的薬投与を開始できた。

細胞診検体は、組織検体より侵襲が少なく、沈渣で遺伝子検査が可能ため、より早く結果を得ることができ、早期治療開始に繋げることができる。良好な結果を得るためには、検体採取から処理までを素早く行うことや遠心条件を守るなど検体の質を保つことが重要である。

一般演題

(3) 「当院における子宮頸部細胞診 AGC 判定の検討」

- 坂本 果穂¹⁾、木下 勇一¹⁾、永井 宏和¹⁾、松崎 生笛²⁾、吉井 輝子¹⁾、杉山 絵美¹⁾、
工藤 祥太¹⁾、荻野 みなみ¹⁾、目 佳那子²⁾、西川 瑞希²⁾、三笠 友理奈²⁾、
高橋 祐一²⁾、岩元 竜太²⁾、小島 史好²⁾、村田 晋一²⁾
1) 和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 病理診断部門
2) 和歌山県立医科大学 人体病理学教室/病理診断科

【はじめに】

今回、我々は子宮頸部細胞診において、異型腺上皮細胞(AGC: Atypical glandular cells)と判定した症例について検討したので報告する。

【対象と方法】

材料は2016年から2022年の間に当院で子宮頸部細胞診 AGC と判定された49症例63検体である。細胞診標本はすべてLBC (ThinPrep)法にて作製した。評価は細胞集塊の出現様式や細胞異型を臨床的背景と併せて再検討した。

【結果】

AGC 症例には、組織学的／臨床的に良性である症例が32検体(50.8%)、上皮内腺癌(AIS)が5検体(7.9%)、腺癌11検体(17.5%)、扁平上皮系病変14検体(22.2%)で、AISとHSILの合併症例が1検体(1.6%)であった。良性症例では、頸管腺上皮由来の異型細胞が21検体、遡及的検討から内膜腺あるいは内膜間質由来と思われる異型細胞が11検体に認められた。頸管上皮由来異型細胞には、核の大小不同や核形不整を認めたが、核密度の上昇やクロマチン増量には乏しかった。内膜腺・内膜間質由来が示唆された異型細胞は、核密度が高く、不規則な配列を認めたものの、強い細胞異型は認めなかった。腺癌/AIS症例では、クロマチン増量が乏しい、もしくは出現が少数であったことから確定には至らなかった。

【まとめ】

頸部細胞診でAGC判定された症例の中で27.0%に腺癌/AISを認め、細胞異型が弱くとも異型細胞として検出することが重要であると考えられた。一方、AGC判定された症例の73.0%が良性病変あるいは扁平上皮病変であった。AGCの判定にはまず、頸部腺上皮由来か内膜由来かを判別することが重要である。内膜由来か否かに迷った場合は、月経周期等の臨床的背景を参照することが大切である。次に頸部腺上皮細胞の判定では、核腫大のみならず、核密度の上昇や重積性・不規則配列やクロマチン増量が重要な所見と思われた。また、内膜由来細胞は、核密度や不規則配列のみならず、細胞異型の存在が重要と考えられた。

スライドカンファレンス

座長：中山 理祐子（日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部）
阪田 幸範（日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部）

（1）婦人科 出題者：楠木 結香（和歌山労災病院 中央検査部）

臓器：外陰

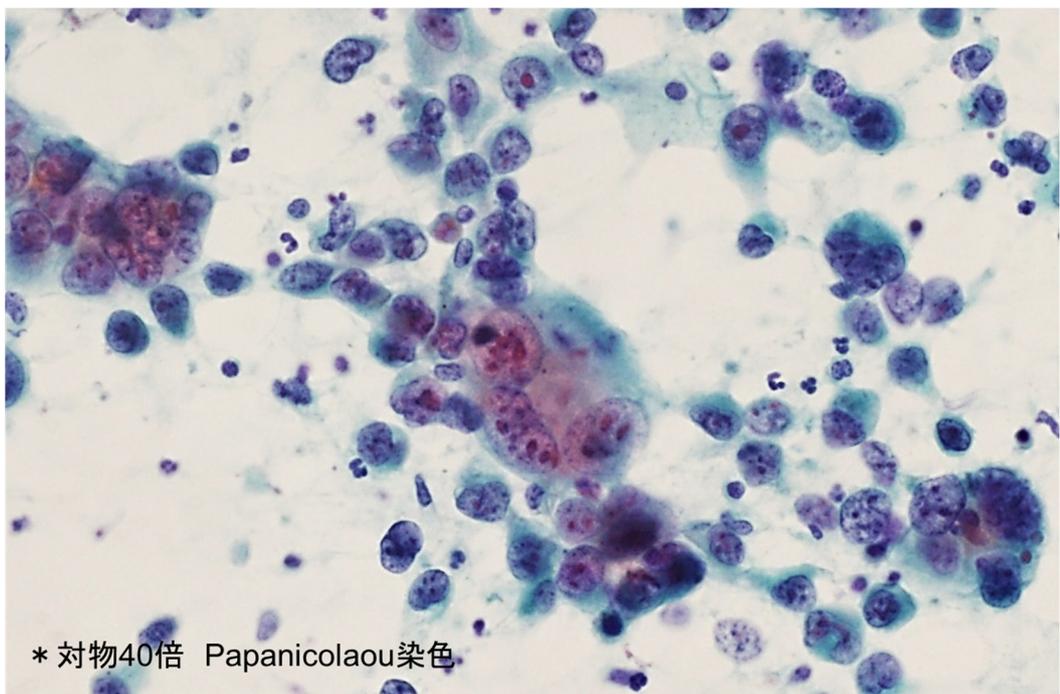
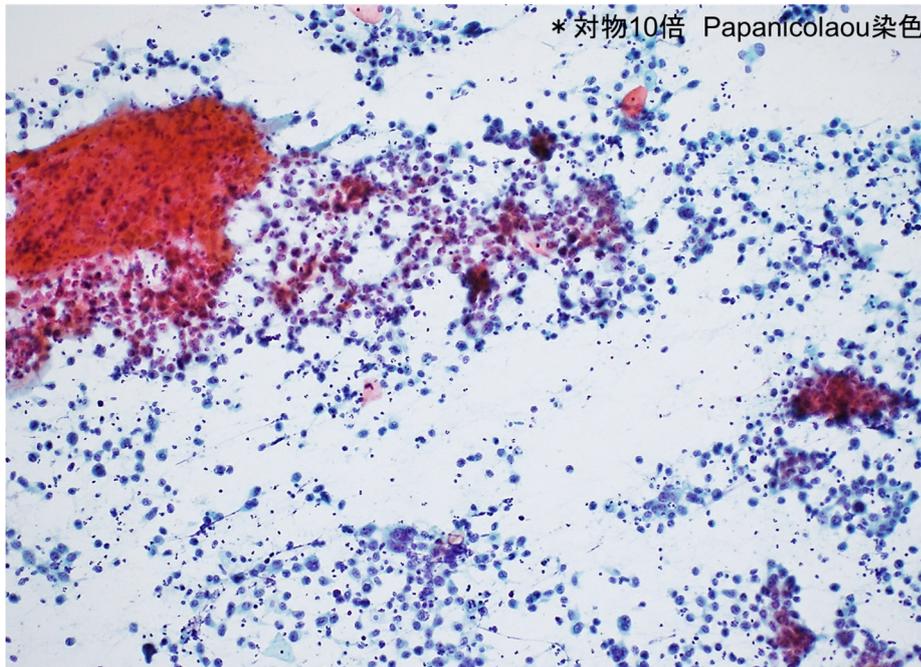
年齢：60 歳代 性別：女性

採取方法：サイトピック 標本作製法：直接塗抹法

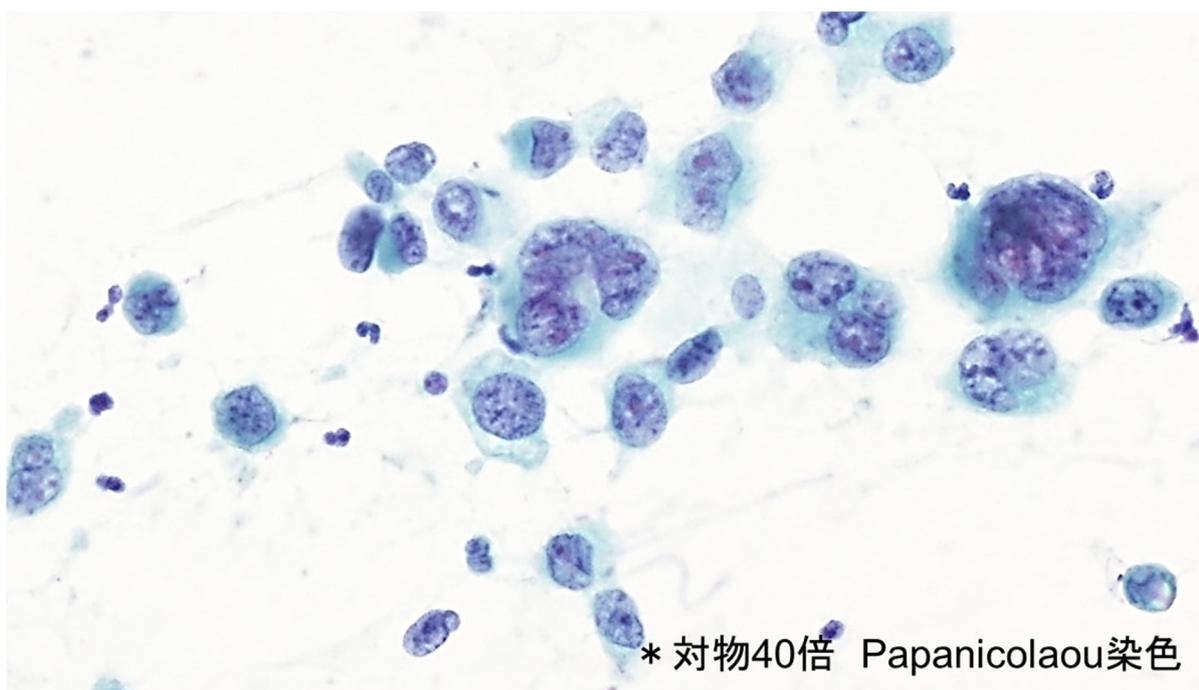
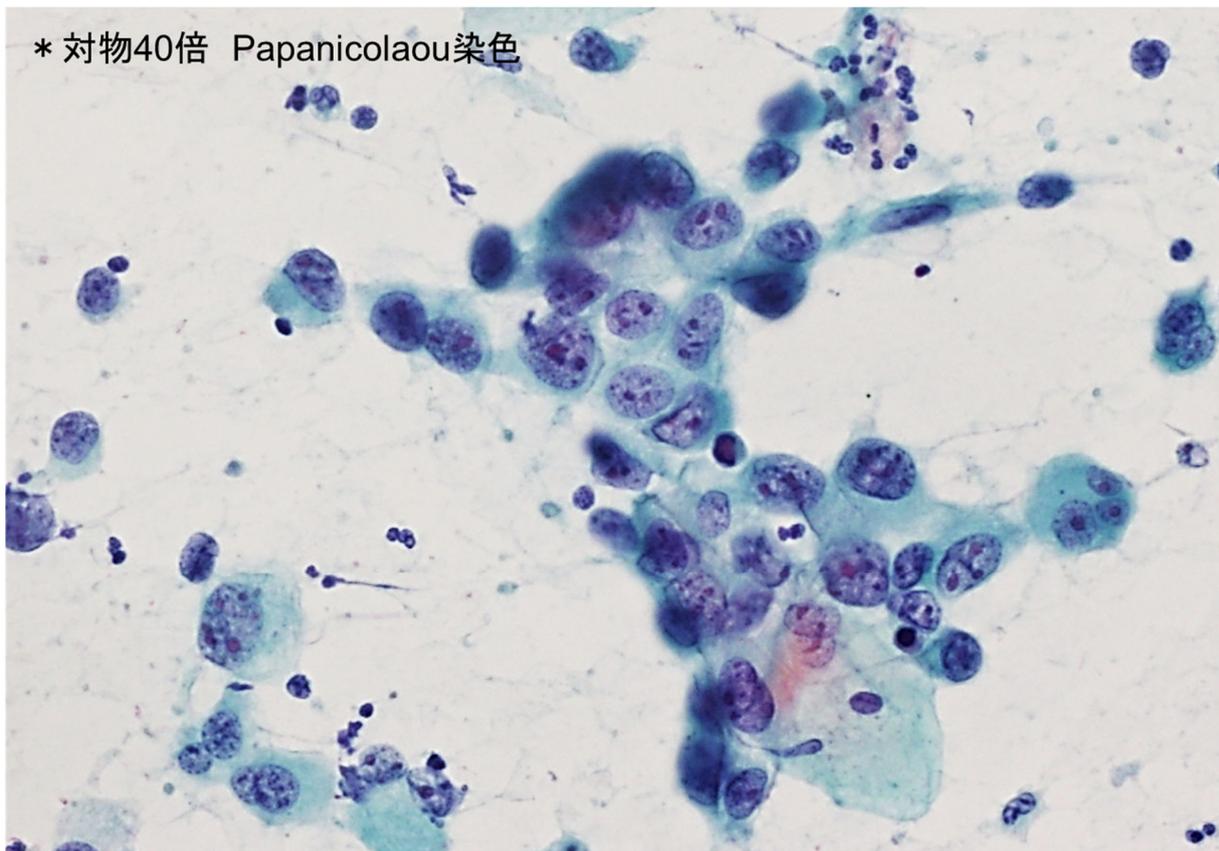
臨床経過：不正性器出血にて来院、初診時の子宮がん検診は問題なし。

約 3 ヶ月後に不正出血にて再度受診され、外尿道口右側に 1 cm の腫瘍を認めた。

既往歴：高血圧・高脂血症



* 対物40倍 Papanicolaou染色



* 対物40倍 Papanicolaou染色

バーチャルスライド閲覧できます。(詳しくは p8)



閲覧



事前投票

スライドカンファレンス

(2) 体腔液 出題者：工藤 祥太

(和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 病理診断部門)

臓器：胸水

年齢：70 歳代 性別：男性

採取方法：穿刺吸引

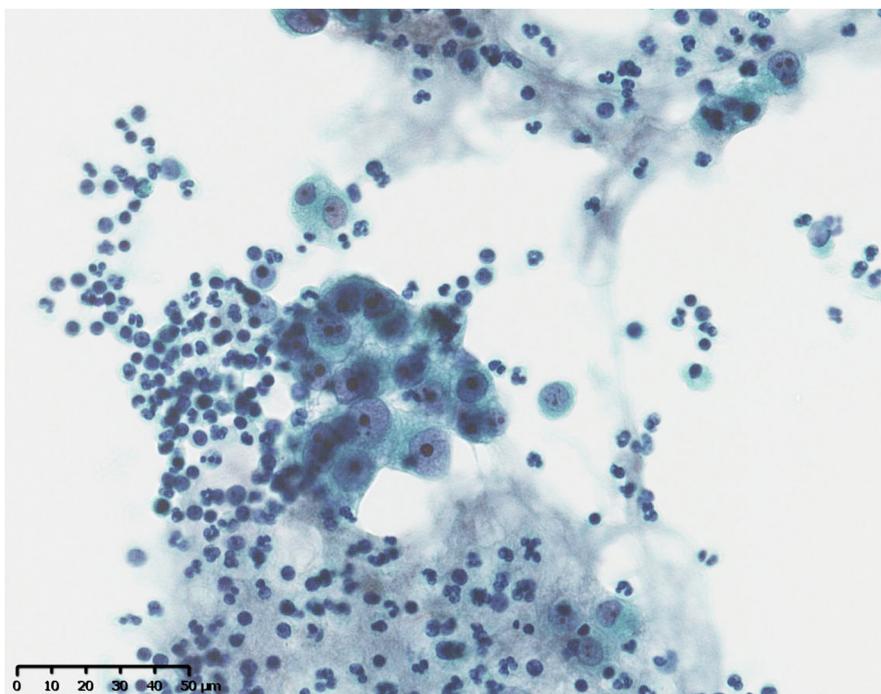
標本作製法：Papanicolaou 染色:サイトスピン法、Giemsa 染色：ストリッヒ法

臨床経過：

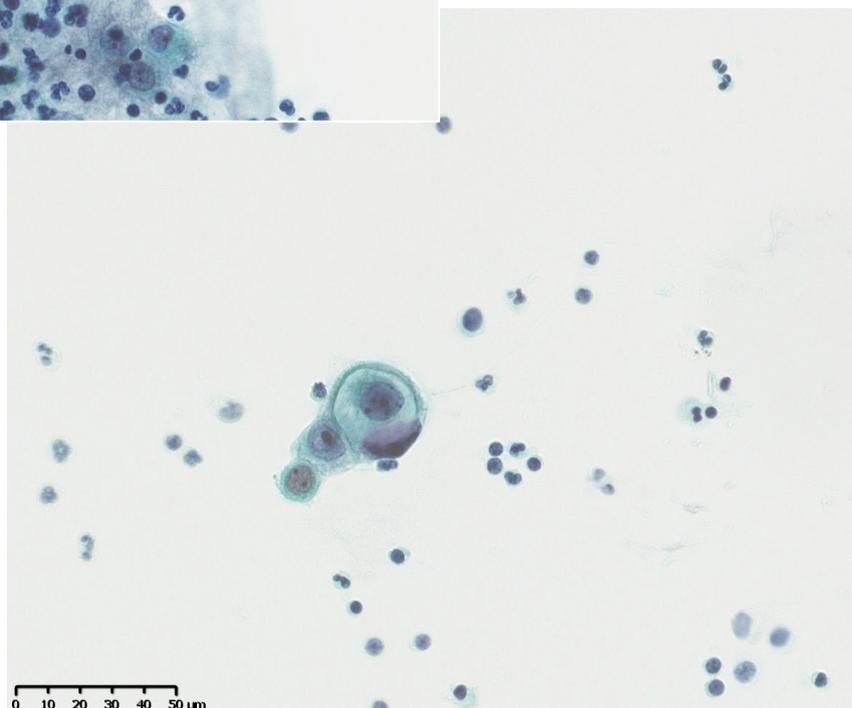
咳嗽時に右側腹部痛を自覚。

現病歴高血圧。既往歴 IPMN（当院でフォロー中）。喫煙歴 40 本×28 年。

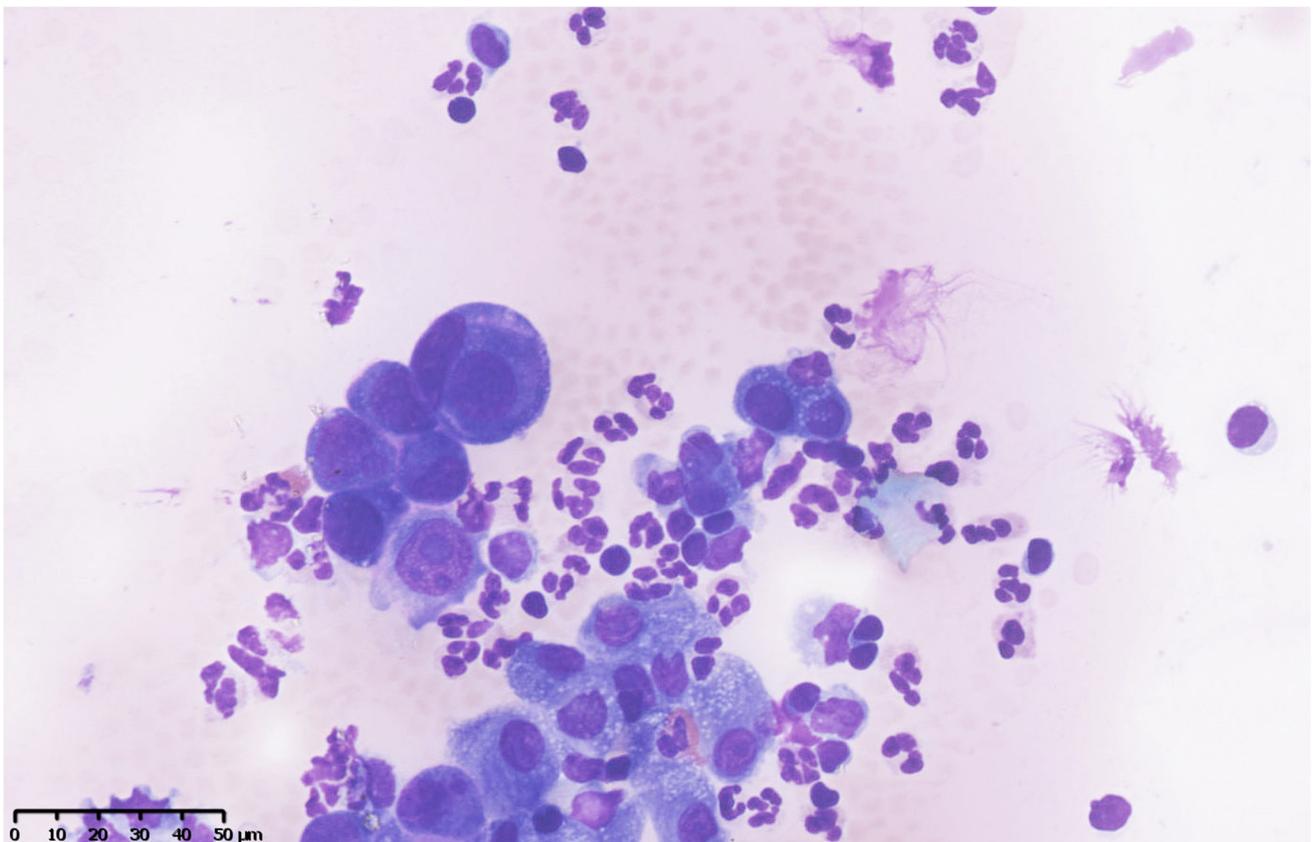
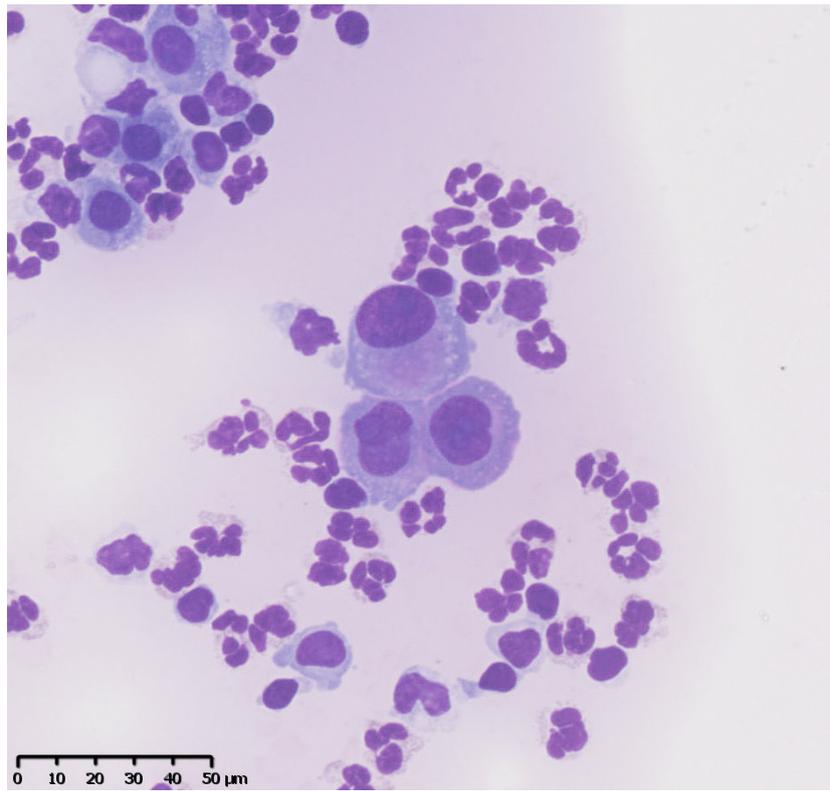
画像検査より右肺下葉に腫瘤を認め、多量の胸水が貯留していた為、細胞診を行った。



Papanicolaou 染色



Giemsa 染色



バーチャルスライド閲覧できます。（詳しくは p8）



閲覧

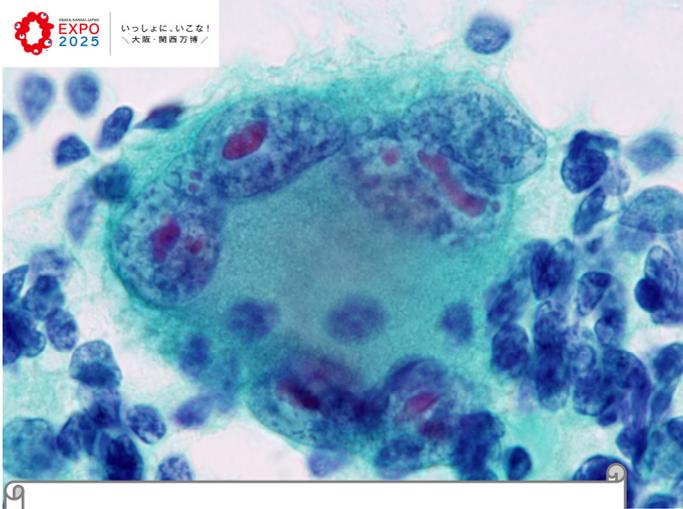


事前投票

フォトコンテスト

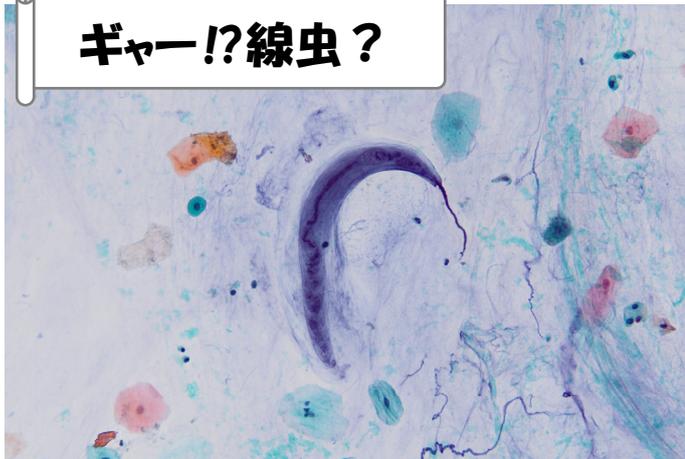


いっしょに、いごな!
大阪・関西万博

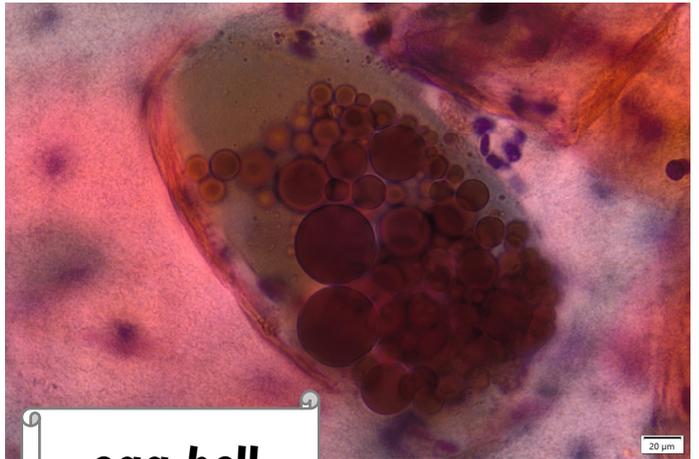
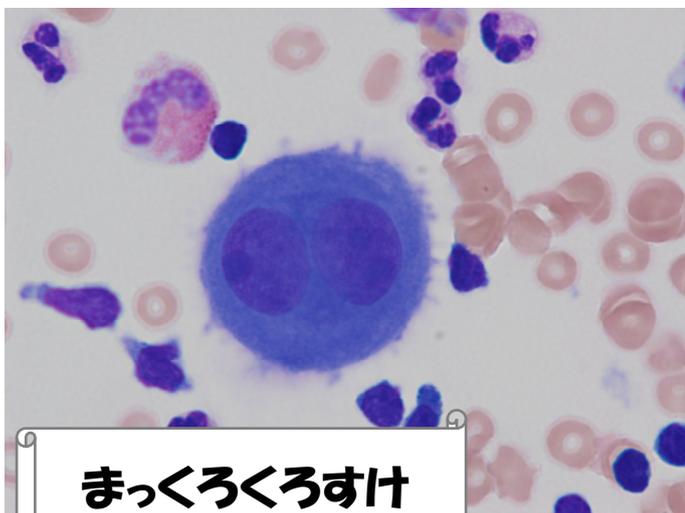


ホジキン細胞のミャクミャク

ギャー!?線虫?

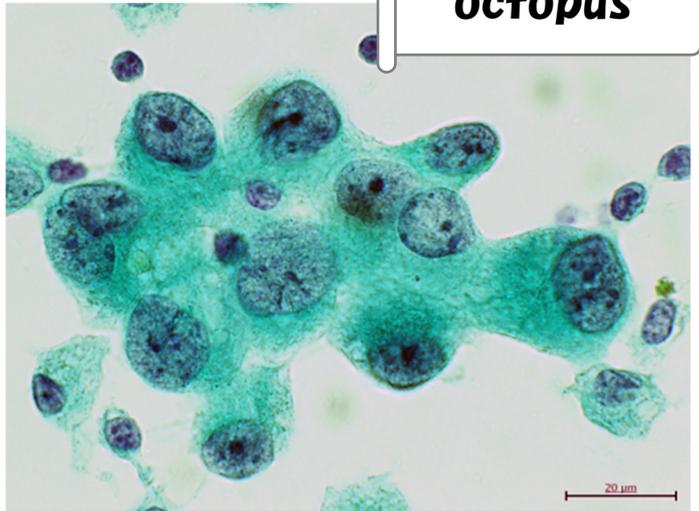


まっくろくろすけ

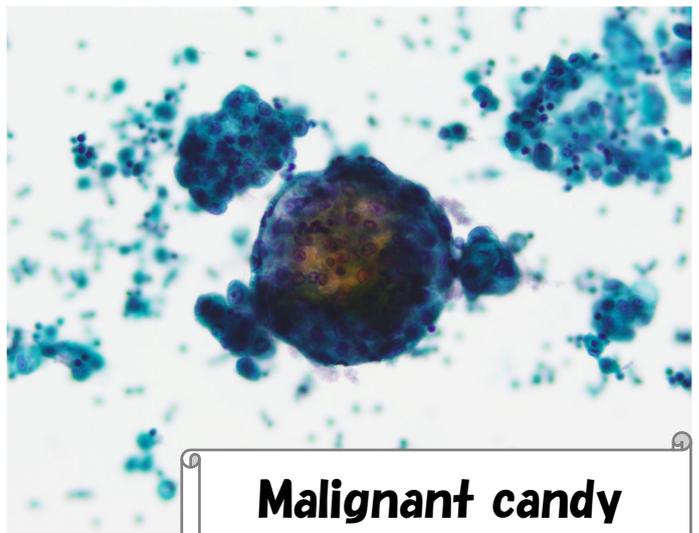


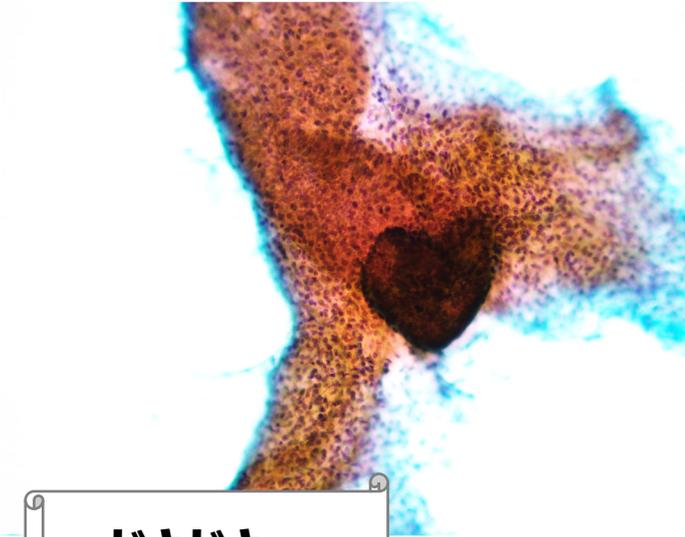
egg ball

octopus

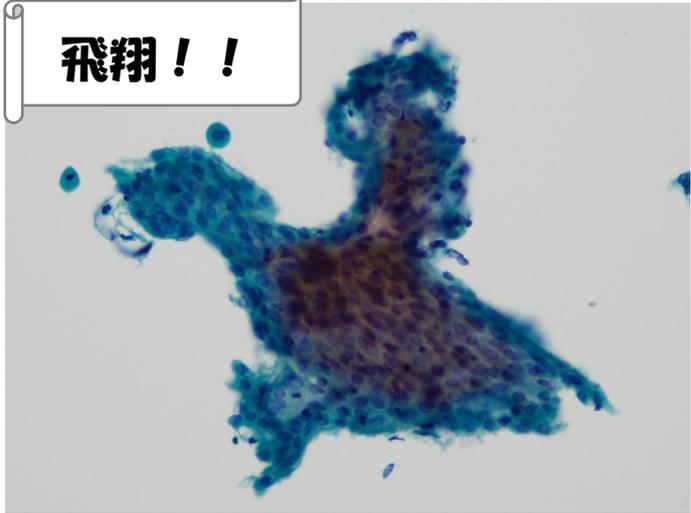


Malignant candy

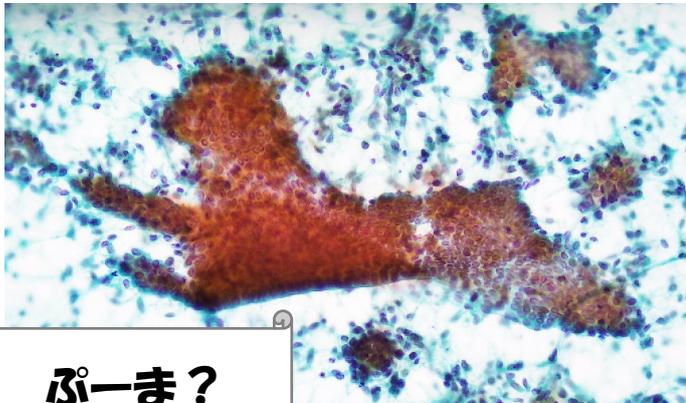




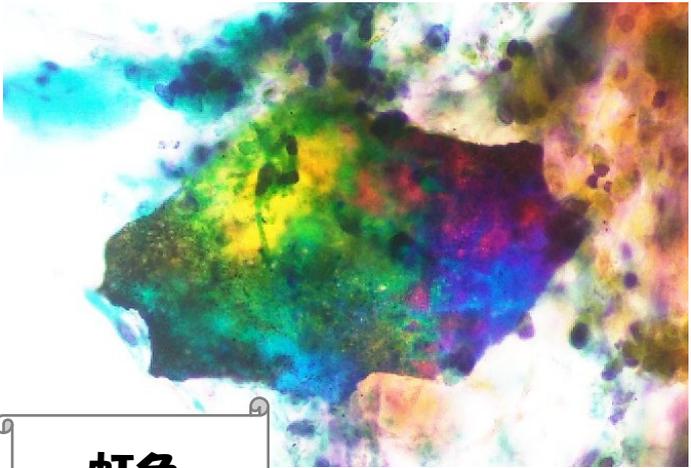
～ドキドキ～



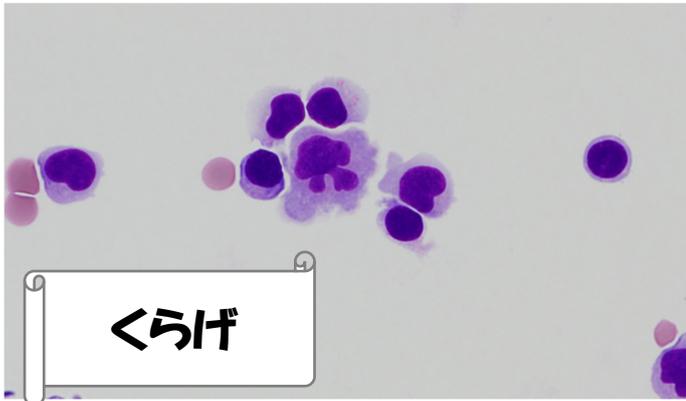
飛翔！！



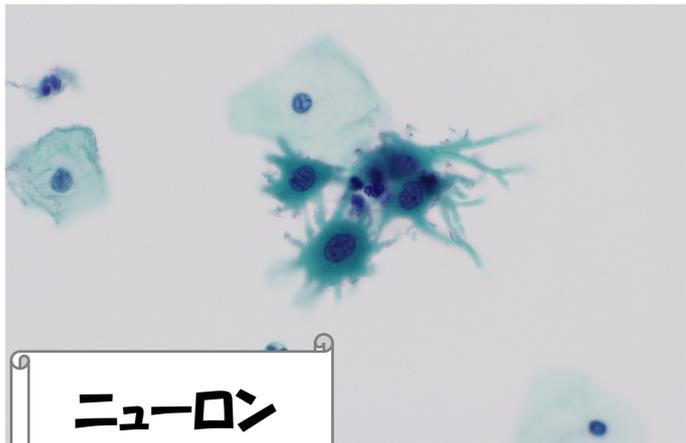
ぷーま？



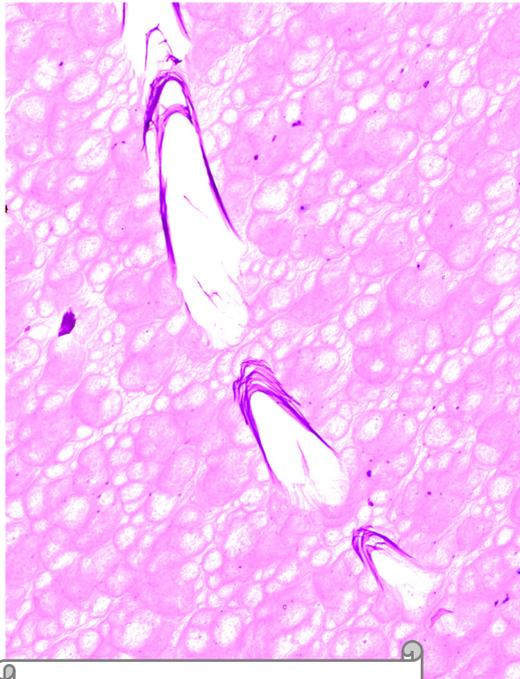
虹色



くらげ



ニューロン



桜舟の航跡

【2022（令和4）年 和歌山臨床細胞学会事業報告】

○1月29日 第46回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会

学術集会長：小島史好先生（和歌山県立医科大学 人体病理学教室/病理診断科 准教授）

Web 開催

特別講演「子宮内膜細胞診の見方と考え方」

柳井広之先生（岡山大学病院 病理診断科 教授）

教育講演「明日から役立つ臍臓領域の細胞診」

稲山久美子先生（元大阪赤十字病院病理診断科）

参加人数 53名

○2022 Love49 活動 子宮頸がん検診推進活動について

6月～7月 紀南看護専門学校、紀南病院 総務課、紀南病院 会計課・医療情報部・互助会、ニチイ(医療事務)、株式会社 大黒、田辺ロータリークラブ、タナベスポーツプラザ、ジストシネマ田辺、近畿労働金庫 田辺支店、JA 紀南、田辺市薬剤師会、ポプラ調剤薬局、田辺市公民館、田辺市立たんぼぼ保育園、一吉(飲食店)、キサラ(美容院)、日本生命、和医大学生課、和歌山県立高等看護学院においてニュースレターおよびサンプル品を800部配布
また、和歌山県立高等看護学院および日本生命において子宮頸がん検診推進活動についての講演を行った。

○和歌山県細胞検査士会の活動

□ 第1回細胞検査士会研修会

日時：2022年3月12日(土) 13時から16時

Web 開催

内容：講演

「子宮頸部細胞診で萎縮性変化を伴ったHSILの細胞像について」

公立那賀病院 稲垣充也技師

症例検討会(4症例)

- ・公立那賀病院(顎下腺穿刺)
- ・和歌山労災病院(気管支擦過)
- ・海南医療センター(子宮頸部擦過)
- ・日本赤十字社和歌山医療センター(胸水)

□ 細胞検査士養成講座

2次試験対策以外はZoomを利用したハイブリッドで開催した。

開催は6月～11月の計6回

各回10名前後の参加者があった。また県外から5名、関西医療大学細胞コースの学生3名も参加した。

○和歌山臨床細胞学会執行部会

場所：和歌山県立医科大学研究棟7F 病理診断科

参加形式：現地、オンライン

・第1回執行部会 1月12日(18:30～19:30)

1. 第46回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会について
2. 役員について
3. 学術集会参加費について

・第2回執行部会 4月21日(18:30～19:00)

1. 第46回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会について
2. 第47回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会について
3. 役員について
4. 細胞検査士養成講座への後援名称使用許可依頼について
5. Love49の活動予定について

- 第3回執行部会 6月16日(18:30~19:00)
 1. 第47回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会について
 2. 第47回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会スライドカンファレンス回答者推薦について
 3. 近畿連合会評議員について
 4. 和歌山県生活習慣病検診管理指導協議会委員について
 5. 全国代表者会議報告
 6. 細胞検査士会都道府県会議の報告
 7. 地方会雑誌の回覧について

- 第4回執行部会 8月18日(18:30~19:10)
 1. 第47回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会について
 2. Love49の活動報告について
 3. 地域連携に所属していない日本臨床細胞学会会員について
 4. 細胞検査士養成講座について

- 第5回執行部会 10月20日(18:30~19:10)
 1. 第47回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会について

- 第6回執行部会 12月15日(18:30~19:10)
 1. 第47回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会について
 2. 第48回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会について
 3. ロゴマークについて
 4. 検査士会補助について
 5. ホームページ管理費について
 6. 第64回日本臨床細胞学会総会(春期大会)地域推薦演題について
 7. 近畿連合会評議員について

【2023（令和5）年 和歌山臨床細胞学会事業予定】

- 第47回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会
 日時：2023（令和5）年2月4日 13：00～17：45
 学術集会長：木下 勇一(和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 病理診断部門)
 会場：和歌山県立医科大学 基礎教育棟 講義室3
- LOVE49 子宮の日の活動
- 執行部会
 偶数月の第3木曜日 18：30～
 和歌山県立医科大学研究棟 7F 病理診断科
- 和歌山県細胞検査士会
 - ・細胞検査士養成講座の開催
 - ・研修会（2回/年）の開催

令和5年度役員（令和5年1月1日）

会長	村田 晋一	和歌山県立医科大学 人体病理学教室 教授
副会長	井籠 一彦	和歌山県立医科大学 産科婦人科学教室 教授
	稲垣 充也	公立那賀病院 臨床検査科 副技師長
理事	今井 秀彰	桜ヶ丘病院 婦人科医長
	尾崎 敬	紀南病院 中央臨床検査部部長
	小島 史好	和歌山県立医科大学 人体病理学教室 准教授
	木下 勇一	和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部 病理診断部門 主査
	真谷 亜衣子	日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部 病理課長
	田中 真理	和歌山労災病院 中央検査部 主任
	谷本 敏	和歌山労災病院 産婦人科部長
	坪田 ゆかり	和歌山労災病院 病理診断科部長
	松崎 生笛	和歌山県立医科大学 人体病理学教室
	峰 高義	紀南病院 中央臨床検査部 主任
	吉田 隆昭	日本赤十字社和歌山医療センター 産婦人科部長
	吉田 恵	関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科 助教
監事	岡田 雄一	日高マタニティクリニック 院長
	宮木 康夫	海南医療センター 検査部長

☆.°.°☆ Memo ☆.°.°☆

Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献するために、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



INVENTING FOR LIFE

人々の生命を救い
人生を健やかにするために、挑みつける。

最先端の医薬品の創造。それは長く険しい道のりです。
懸命な研究開発の99%以上は実を結ばない現実。
でも、決してあきらめない。
あなたや、あなたの大切な人の「いのち」のために、
革新的な新薬とワクチンの発見、開発、提供を
私たちは続けていきます。

 **MSD製薬**
INVENTING FOR LIFE

MSD株式会社 www.msd.co.jp 東京都千代田区九段北1-13-12北の丸スクエア

マイクローム用替刃 ヒストカッター プラズマ
HISTO CUTTER PLASMA



当社は25年以上にわたり、マイクローム用替刃の最高の品質を追求し続けてきました。ヒストカッターPLASMAは、最新のプラズマ窒化処理を施すことにより刃先をノコ刃にすることで切れ味、耐久性が向上した究極のマイクローム用替刃となります。

武藤化学株式会社

東 京：〒113-0033 文京区本郷二丁目10-7 TEL(03)3814-5511(代表)
 大 阪：〒531-0076 大阪市北区大淀中三丁目5-25 TEL(06)6453-0007(代表)



SEIKO MEDICAL

医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

医療・保健・福祉・介護の分野で、
 「生命を守る人の環境づくり」を通じて
 地域の発展に貢献することが
 私達の使命です。



■本 社
 〒640-8287 和歌山市築港6丁目9番地の10
 TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223
 ■大阪支店
 〒595-0012 泉津市北豊中町2丁目5番28号
 TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619

■医大前営業分室
 〒641-0012 和歌山市紀三井寺768番地の13
 TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781
 ■田辺営業所
 〒646-0011 田辺市新庄町2744番地
 TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578

■新宮営業所
 〒647-0072 新宮市蜂伏20番22号
 TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133
 ■奈良営業所
 〒632-0082 天理市荒蒔町56番地の4
 TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810

生命を守る人の環境づくり

SHIP HEALTHCARE GROUP

セイコーメディカル株式会社

お客様の満足が、

私どもの最大の喜びです。



研究・検査用薬品・機器・器材の専門商社

竹内化学株式会社

TAKEUCHI CHEMICAL CO., LTD.



本 社	〒 640-8392 和歌山県和歌山市中之島493番地1	Tel 073-424-2321
紀南営業所	〒 646-0011 和歌山県田辺市新庄町 2744-74	Tel 0739-26-0315
堺 営業所	〒 592-8342 大阪府堺市西区浜寺船尾町西5丁4番3号	Tel 072-266-2244
江坂営業所	〒 564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目9番9号	Tel 06-6380-6600

<http://www.takeuchikagaku.co.jp/>



daikoku GROUP

大黒グループが医療の未来を考えます

daikoku 株式会社 **大黒** 本社 〒640-8525 和歌山市手平 3-8-43 TEL: 073-431-0316 FAX: 073-423-1778

和歌山事業所 〒641-0012 和歌山市紀三井寺 855-71 TEL:073-441-5007 FAX:073-441-6989
 トライアルフィールド ayumino 〒594-1157 和泉市あゆみ野 4-6-6 TEL:0725-54-0909 FAX:0725-54-2828
 南大阪支店 〒594-1157 和泉市あゆみ野 4-6-6 TEL:0725-54-0800 FAX:0725-54-0805
 大阪支店 〒577-0015 東大阪市長田 3-7-11 TEL:06-6618-6111 FAX:06-6618-4500
 神戸支店 〒653-0042 神戸市長田区二葉町 1-1-22 TEL:078-647-6470 FAX:078-647-6471
 奈良支店 〒632-0018 天理市別所町 81-8 通眞ヨシエプラザ TEL:0743-69-5011 FAX:0743-69-5077
 紀南支店 〒646-0011 田辺市新庄町 3778-2 TEL:0739-25-5040 FAX:0739-25-4776
 トライアルフィールド阪神 〒555-0041 大阪市西淀川区中島 2-1-27 プロロジスパーク大阪 4 3F TEL:06-6829-6410 FAX:06-6829-6411
 新宮営業所 〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61 TEL:0735-22-8833 FAX:0735-22-8834
 東京オフィス 〒102-0074 千代田区九段南 2-2-1 エース九段ビル 7F TEL:03-3239-2662 FAX:03-3239-7558
 京都丸太町オフィス 〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入丸太町 32-3 上田ビル 3F TEL:075-762-1588 FAX:075-762-1590

<http://www.d21ms.com>



Explore the depth of organisms in panoramic views

生体深部の微細構造を鮮明に可視化するニコンの多光子共焦点レーザー顕微鏡システムが、さらに進化。AX R MP は、1回のスキャンングで広範囲にわたる動態を、圧倒的な空間分解能と時間分解能で取得します。また、サンプルの設置スペースを飛躍的に拡大。生体サンプルを自然な姿勢のまま観察できる柔軟性を提供します。AX R MPは、広視野・高速・高解像度のすべてを一台の顕微鏡に結実しました。

幅広い研究分野に



2K解像度の高速レゾナントスキャナーで、広い領域をイメージング

多くのデータを一度に取得できる広視野

レゾナントスキャナー/ガルバノスキャナーともに、対角22 mmの広視野を実現。1枚の画像でより多くのデータを取得できます。

動態を確実にとらえる高速スキャン

レゾナントスキャナーは、毎秒720フレーム(512×16画素)の超高速イメージングが可能。光毒性を低減し、生体の速い動態を取得できます。

微細な構造を可視化する高解像度

ガルバノスキャナーは、8K×8Kまでの高ピクセル密度を実現。倍率にかかわらずナイキストサンプリングが可能です。レゾナントスキャナーは、2K×2Kまでの高速・高解像度取得に対応。深部の形態変化も詳細に可視化します。

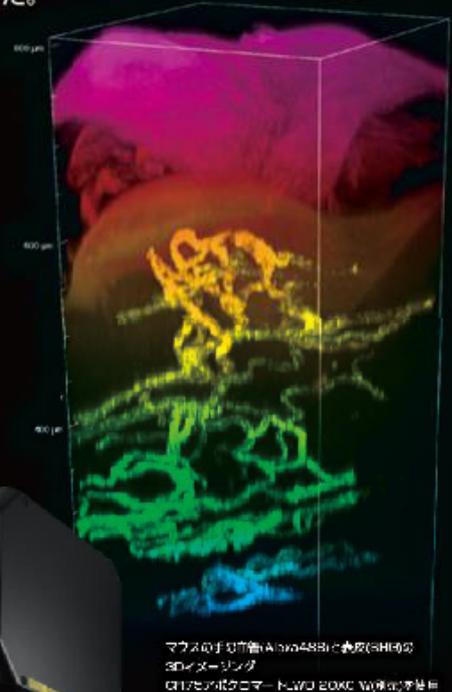
サンプル配置の自由度を大幅に拡大

対物レンズ下に40 cmの高さの広いスペースを確保し、幅広い実験ニーズに対応します。対物レンズの角度が可変なため、サンプルへのアクセス性にも優れています。

NEW!

AX R MP

高速多光子共焦点レーザー顕微鏡システム



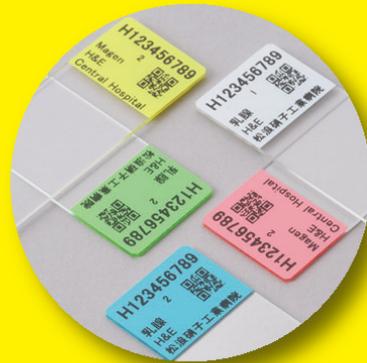
株式会社 **ニコン ソリューションズ**
https://www.microscope.helthcare.nikon.com/ja_JP

本件 140-0015 東京都品川区西大井1-6-3 (株)ニコン 大井ウエストビル3階
 製品お問い合わせ(フリーダイヤル) (0120) 586-617

 **PATH SLIDE PRINTER**

ESPO

- ▶ 超コンパクトサイズ
- ▶ フロントローディング
- ▶ 鮮明な印字品質
- ▶ LAN、無線 LAN、USB



Crest CREST

剥離防止コートスライドガラス
Adhesive Glass Slide



産学協同研究により実現した驚異の接着力

 **松浪硝子工業株式会社**

お問い合わせ先

大阪本社
東京営業所
e-mail

TEL 072 - 433 - 1163
TEL 03 - 5803 - 2441
info@matsunami-glass.co.jp

私たちがつくっている薬の多くは、ふだん接することはあまりない。
けれどその薬があることで守られているふつうの暮らしが、きっとある。
病気になってしまったとき、ちゃんと治療法があること。
それはこの世界になくてはならない希望。
当たり前の日々を守り抜くために、今日も新たなイノベーションを。

なんでもない1日を守れ。

創造で、想像を超える。



Chugai Innovation Lab

☆.°.☆ Memo ☆.°.☆

第 47 回和歌山臨床細胞学会総会学術集会

《事務局》

和歌山県立医科大学・人体病理学教室
〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1
電話: 073-441-0635 FAX: 073-444-5777
メール: wsccl@wakayama-med.ac.jp
ホームページ: <http://wsccl.umin.jp>